

1 文献名
『興讓 百年のあゆみ』
2 学校名
大矢知興讓小学校
3 災害名
昭和 34 年（1959 年）伊勢湾台風
4 記述の概要
<p>（1）雨や風、地震などの様子</p> <p>当日は早くから暴風雨警報が発令されて、生あたたかい南風が吹いていた。夕方ごろから、次第に風雨の勢いがつのり、夜がふけるにつれて、激しい風が吹き荒れた。そのうち屋根瓦が音をたててとばされ、その上に豪雨が降り注いだ。（P52～53）</p>
<p>（2）学校内や地域の被害の状況</p> <p>見る見るうちに、職員室の床上に 10 センチくらい水がたまり、その中をジャブジャブと行きつ戻りつしながら、重要書類を移動させた。</p> <p>気圧計の針がどんどん進み、低気圧の底を示した午後 11 時半ごろ、突然停電し、ラジオもテレビも消えて真暗闇となった。</p> <p>校区内にも大きな災害を残し、特に、富田・富田浜の海岸地帯では、大惨事となった。東洋町にあった先生の自宅では、天井に届くくらい海水が入り、富田や富田浜の先生の自宅も同様の被害を受けた。（P53）</p>
<p>（3）復旧の様子</p>
<p>（4）体験談</p>
<p>（5）教訓など</p>
<p>（6）その他</p>